

令和5年度

事業中間報告

(令和5年4月1日～令和5年12月31日)

| | | | |
|-------------------|----|---|----|
| I 事業報告 | p1 | ～ | p4 |
| II 会議報告 | p4 | ～ | p6 |
| III その他 | p6 | ～ | p7 |
| IV 大阪産業教育振興協議会 関係 | | | p7 |

大阪実業教育協会

〒535-0001 大阪市旭区太子橋3-1-32 大阪府立淀川工科高等学校内

TEL・FAX 06-6955-5657

E-mail info@osaka-jikkyou.com

URL <https://osaka-jikkyou.com/>

I 事業報告

1 産業教育に関する教員の研究活動の奨励及び研修などに協力する事業

講演会、研修会、企業・大学等見学研修会 等

(1) 産業教育に関する講演会 (第1回)

実施日 令和5年5月26日(金) 15:10～16:40 40名参加
会場 守口文化センター 研修室 講演並びに質疑応答
講師 東洋紡株式会社 相談役 坂元 龍三 様 (当協会 会長) 様
演題 「Society 5.0 for SDGs 実業教育の未来を考える」

(2) 産業教育に関する講演会 (第2回) (大阪産業教育振興協議会と共催)

実施日 令和5年12月6日(水) 15:00～16:30 23名参加
講師 公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会
広報・プロモーション局 地域・観光部 参事 池淵 広伸 様
演題 「2025年大阪・関西万博 最新状況と参画について

～共創活動を進めるにあたって～

会場 大阪府教育センター 第6研修室

(3) 専門高校教員実技講習会 (第45回)

実施日 令和5年8月8日(水) 9:30～15:30 26名参加
会場 大阪国際工科専門職大学 (大阪市北区)
内容 「AI (人工知能) を用いた画像認識」

(4) 会員大学見学会

| | | | |
|-----------------|--------|-------------------|--------|
| 7月25日(火) 摂南大学 | *14名参加 | 7月26日(水) 大阪電気通信大学 | *14名参加 |
| 7月27日(木) 近畿大学 | *21名参加 | 7月28日(金) 大阪工業大学 | *14名参加 |
| 8月2日(水) 大阪産業大学 | *19名参加 | 8月3日(木) 大阪経済法科大学 | *15名参加 |
| 8月23日(水) 大阪商業大学 | *9名参加 | 8月25日(金) 関西大学 | *14名参加 |

(5) 見学研修会 (会社・工場見学)

実施日 令和5年11月1日(水) 15:00～17:00 14名参加
場所 大阪ガス カーボンニュートラルリサーチハブ (大阪市此花区)
内容 カーボンニュートラルエネルギーの研究開発施設見学と説明

(6) 国内産業研修員の派遣 (教頭研修)

参加 佐藤義勝 (府立堺工科高校)
山口昌志 (府立佐野工科高校)
除本泰喜 (府立和泉総合高校定時制の課程)
日程 11月30日(木) 熊本県立八代工業高校・熊本工業高校 訪問
12月1日(金) 福岡市立博多工業高校 訪問

(7) 中学校技術・家庭科教員対象技術講習会

実施日 令和5年8月22日(火) 13:30～16:30 府内中学校 技術・家庭科教員15名参加
主催 大阪実業教育協会 大阪府中学校技術・家庭科研究会 大阪市立中学校教育研究会技術・家庭部
会場 今宮工科高校 CAD実習室
内容 「micro:bitによる計測・制御」

2 実業家・教育者・教育行政当局者との連絡協力を図る事業 (企業、大学と学校との情報交換等)

要望書・陳情書について

(1) 本協会会長と大阪産業教育振興協議会会長の連名による要望・陳情書

- ① 令和5年度産業教育振興に関する要望書 (産業教育振興にかかわる予算の拡充の要望)
 - ・大阪府教育庁 (教育監) 訪問 9月25日 (月)
 - ・大阪市教育委員会 (指導部長) 訪問 9月27日 (水)

- ・堺市、岸和田市、東大阪市の各教育委員会 9月22日(金) 文書発送
 - ② 専門高校生の採用に関する陳情書
 - ・関西経済連合会 9月12日(火) 訪問
 - ・大阪商工会議所 9月25日(月) 訪問
 - ・関西経済同友会 10月6日(金) 訪問
 - ③ 大学入学者選抜に関する陳情書
 - ・会員11大学 10月訪問
- (2) 公益財団法人産業教育振興中央会 会長 他10団体による要望書
- ① 産業教育の振興に関する要望書 上記陳情書と併せて持参
 - *大阪商工会議所・関西経済連合会・関西経済同友会 宛
 - ② 専門高校生徒の就職に関する要望書 上記陳情書と併せて持参
 - *大阪商工会議所・関西経済連合会・関西経済同友会 宛
 - ③ 専門高校生徒の進学機会の拡大等に関する要望書 上記陳情書と併せて持参
 - *会員11大学 宛 *大阪商工会議所・関西経済連合会・関西経済同友会 宛

3 生徒に対する研究活動の奨励(研究文・作文・研究発表等)

生徒の研究文・作文募集(大阪実業教育協会・大阪産業教育振興協議会と共催で表彰)(9月)
 農業分野:研究文6作品、作文11作品、工業分野:作文3作品の計20作品を中央会へ応募
 産業教育振興中央会の審査において研究文1作品が「佳作」に入選しました。

(1) 産業教育振興中央会の審査結果

研究文

{佳作} 「抗がん作用のある天然物質の機能性に関する研究」
 大阪府立園芸高等学校 バイオサイエンス科 微生物部

(2) 大阪実業教育協会・大阪産業教育振興協議会の審査結果

研究文

{優秀賞} 「アレロパシー植物と野菜類の混植による雑草の発生抑制に関する研究」
 大阪府立園芸高等学校 環境緑化科

「抗がん作用のある天然物質の機能性に関する研究」
 大阪府立園芸高等学校 バイオサイエンス科 微生物部

{優良賞} 「栄養的実験用小動物の模索ーダンゴムシの給餌と運動量の関係性についてー」
 大阪府立園芸高等学校 バイオサイエンス科 バイオ研究部

「抗菌性食品添加物であるソルビン酸カリウムの菌類および植物の生育に及ぼす影響」
 大阪府立園芸高等学校 バイオサイエンス科 バイオ研究部

{佳作} 「地域資源を活用した持続可能な花き生産方法の検証」
 大阪府立園芸高等学校 フラワーファクトリ科 植物バイオ部

「稲穂から分離した不完全菌類を用いた米の糖化」
 大阪府立園芸高等学校 バイオサイエンス科 バイオ研究部

作文

{優秀賞} 「私が見つけた夢」
 大阪府立都島工業高等学校 建築科

「寄り道がより好きな道に」
 大阪府立都島工業高等学校 理数工学科

{優良賞} 「私がしたいこと」

- 大阪府立都島工業高等学校 建築科
「難病からの復活—園芸療法士を目指して—」
大阪府立園芸高等学校 環境緑化科
「愛♡LOVE トマト」
大阪府立農芸高等学校 ハイテク農芸科
「門真レンコンの未来に向けて」
大阪府立農芸高等学校 ハイテク農芸科
{佳 作} 「ここでしか学べないこと」
大阪府立園芸高等学校 フラワーファクトリ科
「地域に広げる“ゆうき”」
大阪府立農芸高等学校 ハイテク農芸科
「THE 紅物語」
大阪府立農芸高等学校 ハイテク農芸科
「大いなる豆」
大阪府立農芸高等学校 ハイテク農芸科
「家畜を幸せにしたい」
大阪府立豊中高等学校能勢分校 総合学科
「キウイフルーツが果物ランキングNo. 1になる日を目指して」
大阪府立農芸高等学校 ハイテク農芸科
「“わた”と”わたし”が”はしわたし”」
大阪府立農芸高等学校 ハイテク農芸科
「農業の発展と祀りの背景」
大阪府立農芸高等学校 ハイテク農芸科

4 産業教育功労者の表彰及び専門高等学校優良卒業生の選奨・表彰

(1) 御下賜金記念産業教育功労者表彰（産業教育振興中央会の事業）

受賞者：17名（府立16名、堺市立1名）

*60歳以上、勤続30年以上で産業教育に功労のあった人

伝達式：令和5年11月7日（火）15：00～ 守口文化センター 研修室

- ・稲田会長から表彰状を伝達
- ・来賓として、大阪府教育庁指導主事、大阪市教育委員会事務局指導主事 臨席
- ・伝達式後、稲田会長、来賓と記念撮影

(2) 専門高等学校優良卒業生表彰（産業教育振興中央会の事業と兼ねる）

優良卒業生の選奨・表彰 令和6年1月10日 ～ 表彰状等渡し

- ・公益財団法人産業教育振興中央会からの優良卒業生の選奨・表彰（各校1名）計49名
- ・本協会及び大阪産業教育振興協議会からの会員各専門高校の当該優良生徒を表彰（各校2名）計101名に表彰状と副賞を授与

5 産業教育に関し、公私の諮問に応え、または意見を開申する

本年度は活動はなし

6 協会基礎強化の取組み

(1) 会則の改正

- ・理事会機能を有機的に活用できるよう、会長が理事長の職を兼ねることとする。
- ・生徒数に応じた学校会費について、実際の生徒数に応じた生徒数区分を設定する。

(2) 中学校との連携強化

- ・府内中学校技術・家庭科教員への技術講習会を通じ、本府の産業教育の充実を図る。

- ・中学校からの専門高校への理解を深めるとともに、中学校の当協会への加入につなげたい。
- (3) 会員の拡大
- ・大阪国際工科専門職大学が入会され、専門高校教員実技講習会(第45回)を受け入れていただいた。

7 その他必要と認める事業

特になし

II 会議報告

1 第1回 合同役員・幹事会(部会長・幹事校長会)

日時 5月12日(金) 15:40~16:20

場所 オンライン会議

協議・報告事項

(1) 理事会(5月19日開催)に付議する議案

①令和4年度事業報告並びに決算報告(案)

②会則の改正(案)

③新年度役員(案)

④令和4年度事業評価に対する理事会からのご意見・ご提言の報告

⑤令和5年度事業計画並びに予算計画(案)

(2) 令和5年度 合同役員・幹事会 新役員(案)

(3) 国内産業教育研修員(教頭)の派遣について

(4) 要望書について

(5) 講演会・講習会・見学会について

(6) 中学校との連携強化について

(6) 「全国産業教育フェア大阪大会」の預かり金の使途の確認について

(7) 全国産業教育フェア福井大会について

(8) 大阪産業教育振興協議会関係について

(9) 産業教育振興中央会関係について

上記の議案は原案通り承認されました。

2 第1回理事会

日時 5月19日(金) 15:30~16:30

場所 淀川工科高校 記念会館

協議・報告事項

(1) 開会挨拶

(2) 会長挨拶

(3) 定足数確認

(4) 議長選出(会則第12条2により理事長が議長)

(5) 議事録署名人の選出

(6) 議事

〈決議事項〉

第1号議案 令和4年度事業報告並びに決算報告(案)

第2号議案 会則の改正(案)

第3号議案 令和5年度新役員(案)

「役員名簿(案1)」の確定、「役員名簿(案2)」作成(理事会原案)

第4号議案 令和5年度事業計画並びに予算(案)

上記の議案は原案通り承認されました。

3 総会

日時 5月26日(金) 総会 14:00~15:00

研究協議会 15:10～16:40

場所 守口文化センター 研修室

協議・依頼・報告事項

- (1) 令和4年度事業報告並びに決算報告の件
- (2) 会則改正の件
- (3) 令和5年度新役員について、理事会（案）のご承認の件
- (4) 令和5年度事業計画並びに予算の件
- (5) その他

【令和5年度事業計画(案)】

・令和4年度の事業評価を参考に、令和5年度の事業計画（案）策定しました。

- 1 国内産業研修員の派遣
- 2 実業家・教育者・教育行政当局者との連絡協力を図る事業
(企業、大学と学校との情報交換等)
- 3 産業教育に関する教員の研究活動の奨励及び研修などに協力する事業
(講演会・研修会・見学研修会（企業、大学）等)
- 4 生徒に対する研究活動の奨励（研究文・作文・体験発表等と表彰）
- 5 産業教育功労者の表彰及び専門高等学校優良卒業生の選奨
- 6 産業教育に関し、公私の諮問に応え、または意見を開申する
- 7 協会基礎強化の取組み
- 8 その他必要と認める事業

上記の議案は原案通り承認されました。

研究協議（第1回産業教育に関する講演会）

講師 東洋紡株式会社 相談役 坂元 龍三（当協会 会長） 様

演題 「Society 5.0 for SDGs 実業教育の未来を考える」

4 第2回 合同役員・幹事会（部会長・幹事校長会）

日時 9月16日（金） 15:50～16:40分

場所 オンライン会議

協議・報告事項

- (1) 本協会と大阪産業教育振興協議会会長の連名による要望・陳情書 について
 - ① 産業教育振興に関する要望書（産業教育振興にかかわる予算の拡充の要望）
 - ② 専門高校生の採用に関する陳情書
 - ③ 大学入学者選抜に関する陳情書
- (2) 公益財団法人産業教育振興中央会 会長 他10団体による要望書について
 - ① 産業教育の振興に関する要望書 上記陳情書と併せて持参
 - ② 専門高校生徒の就職に関する要望書 上記陳情書と併せて持参
 - ③ 専門高校生徒の進学機会の拡大等に関する要望書 上記陳情書と併せて持参
- (3) 当協会後期研修事業
 - ① 国内産業教育研修員派遣（教頭研修）
学校 府立堺工科高校、府立佐野工科高校、府立和泉総合高校（定）
日程 令和5年11月30日～12月2日
研修先 熊本県立八代工業高校・熊本工業高校、福岡市立博多工業高校
 - ② 見学研修（会社・工場見学）
日時 11月1日（水）
場所 大阪ガス カーボンニュートラルリサーチハブ
 - ③ 産業教育講演会（第2回）
日時 令和5年12月6日（水）15:00～16:30
場所 大阪府教育センター 第6研修室

演題 「調整中」(大阪・関西万博に関する内容)

講師 公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会より

(4) 協会の基盤強化について

①会員の確保(会社、大学、高校、個人)

②中学校との連携事業の創出

(5) その他

「平成20年開催、第18回全国産業教育フェア大阪大会」の預り金(管理)について
当協会は支出執行及び通帳の管理を行うものとする。

【府内の産業教育振興支援を目的】に活用する。

①全国産業教育フェア派遣補助

②専門高校等の生徒研究活動や成果発表等の補助

上記の議案は原案通り承認されました。

依頼・報告事項

(1) 専門高校教員実技講習会(第44回) 「A I (人工知能) を用いた画像認識」

8月8日(水)に実施。14校26名参加 (於:大阪国際工科専門職大学)

(2) 会員大学見学会

7月～8月にかけて実施

摂南大学 大阪電気通信大学 近畿大学 大阪工業大学 大阪産業大学 大阪経済法科大学
大阪商業大学 関西大学

(3) 「令和5年度 専門高等学校生徒の研究文・作文コンクール参加作品」の応募状況

・研究文 1校6作品(農業6)

・作文 3校14作品(農業11・工業3)

(4) 第33回全国産業教育フェア福井大会・第65回全国産業教育振興大会

令和5年10月28日(土)・29日(日)

(5) 産業教育功労者表彰について

・推薦 : 府立から16名、堺市立から1名 計17名を産振中央会に推薦

・表彰伝達式 : 令和5年11月7日(火)15時～ 守口市文化センター研修室

(6) 専門高校優良卒業生の選奨について

・本協会及び大阪産業教育振興協議会連名で表彰 : 各校2名(副賞付)

・中央会(専門高校等御下賜金記念優良卒業生選奨事業) : 各校1名

(7) 中学校教員対象実技講習会

主催:大阪実業教育協会 大阪府中学校技術・家庭科研究会 大阪府立中学校教育研究会技術・家庭部

8月22日(火) 今宮工科高校 CAD実習室

*府内中学校 技術・家庭科教員 15名参加

Ⅲ その他

1 産業教育フェア

(1) 第31回大阪府産業教育フェア 令和5年7月23日(日)

インテックス大阪で大阪府公立高校進学フェアと同時開催

後援名義の使用承認と補助金支出

会員会社名・大学名を記載したポスターを作成し会場内に掲示

(2) 第33回全国産業教育フェア福井大会・第65回全国産業教育振興大会

令和5年10月28日(土)・29日(日) 専務理事と校長1名が参加

第65回全国産業教育振興大会で採択された決議文は、関西経済3団体へ送付

2 後援・助成

(1) 第31回大阪府産業教育フェア

後援名義の使用承認と補助金支出

- (2) 令和5年度 近畿工業高等学校長協会 総会並びに研究協議会
後援名義の使用承認

3 その他

- (1) 令和5年4月より当協会ホームページをリニューアルし、メインメニューの「協会からのお知らせ」
「行事・取組」等の設定により、関係事業の連絡や報告等の円滑な情報発信に努めている。
(2) 可能な限り、Eメールやホームページを利用し、連絡・発信の効率化・省力化を積極的に進めている。

IV 大阪産業教育振興協議会 関係

事業運営の効率化を図るため、役員会について、オンライン会議により実施。総会については、書面審議での決議とし、令和5年6月23日を書面表決書締切日とした。なお、書面審議では、全会員の承認をいただいた。

1 役員会

- 日 時 令和5年6月9日（金）
方 法 オンライン会議（興國高校のZoomを使用）
議 題 ① 役員改選（役員名簿、組織の関係、実教と本協議会、中央会と全産協）
② 令和4年度事業報告、会計報告（案）
③ 令和4年度会計監査報告
④ 令和5年度事業計画（案）、会計予算（案）
⑤ 全国産業教育フェア大阪大会（府産業教育フェアへの）預かり金について
⑥ 要望書について ア「産業教育振興に関する要望書」
イ「専門高校卒業生の採用に関する陳情」
ウ「大学入学者選抜に関する要望」
⑦ その他

2 総会【書面審議（書面表決）】

- 第1号議案 令和4年度役員（案）
第2号議案 令和4年度事業報告（案）
第3号議案 令和4年度会計報告（案）
第4号議案 令和4年度会計監査報告
第5号議案 令和5年度事業計画（案）
第6号議案 令和5年度会計予算（案）
第7号議案 要望書について

3 研究協議会 大阪実業教育協会

- 日 時 令和5年7月7日（金） 13時30分～14時30分 35名参加
会 場 大阪府教育センター 第8研修室
講 師 元追手門学院大学教授、元府立高校校長 前 比呂子 様
演 題 「つながる力を育てる反貧困学習」

4 産業教育に関する講演会（第2回）（大阪産実業教育協会と共催）

- 日 時 令和5年12月6日（水）15：00～16：30 23名参加
会 場 大阪府教育センター 第6研修室
講 師 公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会
広報・プロモーション局 地域・観光部 参事 池淵 広伸 様
演 題 「2025年大阪・関西万博 最新状況と参画について～共創活動を進めるにあたって～」